

# Sport for Tomorrow プログラム

○コアメッセージ: スポーツが未来をつくる: 2020年東京オリンピック・パラリンピック大会とそれに向けた具体的行動を通じて、世界のより良い未来のために、未来を担う若者をはじめ、あらゆる世代の人々に、スポーツの価値とオリンピック・パラリンピック・ムーブメントを広げていく。

2014～2020年の7年間で、開発途上国を始めとする100か国以上の国において、1,000万人以上を対象に、以下のプログラムを実施する。

## ① スポーツを通じた国際協力及び交流

### 【外務省】

- スポーツ関連施設の整備, 器材供与(文化無償資金協力)
- スポーツ指導者・選手の派遣・招へい(JICAボランティア派遣, スポーツ外交推進事業)
- スポーツ分野での技術協力(JICA技術協力)
- スポーツ分野での日本文化紹介・人材育成支援(国際交流基金事業)
- スポーツ分野での日本文化紹介(在外公館文化事業) 等

### 【スポーツ庁】

- 学校体育カリキュラム策定支援、スポーツイベントの開催支援をするため、専門家を派遣

## ② 国際スポーツ人材育成拠点の構築 【スポーツ庁】

- スポーツ教育を行う大学院修士課程や短期プログラムへの留学生の受入

## ③ 国際的なアンチ・ドーピング推進体制の強化支援 【スポーツ庁】

- アンチ・ドーピングが遅れている国への教育・研修パッケージの開発・導入支援等

## Sport for Tomorrowコンソーシアム (2014年8月設立)

※官民連携しオール・ジャパンでSport for Tomorrowプログラムを推進していくためのネットワーク

### ●運営委員会:

外務省  
スポーツ庁  
JICA

### 国際交流基金

日本スポーツ振興センター(JSC)

日本オリンピック委員会(JOC)

日本パラリンピック委員会(JPC)

日本アンチドーピング機構(JADA)

筑波大学

2020年東京大会組織委員会

2019年ラグビーワールドカップ組織委員会

日本体育協会

### ●メンバー:(随時募集中)

国内各競技団体

NGO, 民間企業

大学 等

### ●事務局:

日本スポーツ振興センター(JSC)

上記に加え、スポーツ振興の前提となる途上国の青少年の育成を草の根レベルで支援。(教育施設整備案件)→外務省